

コンクリートの現場透気性試験



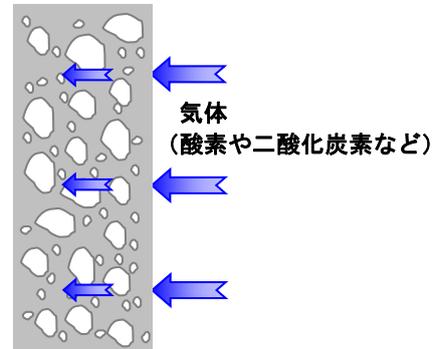
一般財団法人

日本建築総合試験所

コンクリートの気体透過性を調べます。

透気性とは

透気性は、物質内を気体が透過する性質のことです。コンクリートは多孔質体（内部に大小さまざまな孔をもつ体）であり、その粗密の程度によって透気性は異なります。コンクリートの透気性は耐久性を左右する性質のひとつであり、特に中性化の進行速度と密接な関係があります。



コンクリート(断面)

現場透気性試験

コンクリート構造物を対象とした簡易な透気性試験の方法には、次のようなものがあります。

試験方法	概要	試験方法の例
削孔法	コンクリートにドリル削孔等をつけて孔内を加圧または減圧し、孔内部の圧力が特定の圧力に達するまでの時間を計測するなどして、透気性を評価します。	<p>ドリル削孔法(減圧の方法)</p>
表面法	コンクリート表面に圧力室（チャンバー）を設けて室内を減圧または加圧した後、経時に伴う圧力室内の圧力変化とその経過時間を計測し、透気性を評価します。	<p>ダブルチャンバー法(減圧の方法)</p>

※ 上記の方法とは別に、試験体による透気性試験の方法もあります（わかりやすい試験シリーズ 材C-01 参照）。